

## 事後評価調書

I 事業概要						
事業名	街路事業					
地区名	都市計画道路 <small>せとがわ</small> 瀬戸川プロムナード線					
事業箇所	愛知県瀬戸市山脇町 <sup>やまわきちょう</sup> ～瀬戸市栄町 <sup>さかえまち</sup>					
事業のあらまし	<p>(都)瀬戸川プロムナード線は、瀬戸市の中心市街地である名鉄瀬戸線の尾張瀬戸駅前や、一級河川瀬戸川沿いに位置し、国道155号や国道363号と接続する都市幹線道路である。</p> <p>また、瀬戸市の都市計画マスタープランにおいては、尾張瀬戸駅周辺を瀬戸市の玄関口に位置づけており、景観に配慮した市街地形成を行っているため、駅前に位置する本路線は良好な景観を形成する上で重要な路線である。</p> <p>このうち、当該事業区間は、瀬戸市の中心市街地に位置し名鉄瀬戸線の尾張瀬戸駅前の道路であるが、電柱により景観が阻害されていた。また、車道は狭小で右折帯がない交差点により走行性が悪く、歩道の一部区間が未整備であるなど、歩行者や自転車等の安全が確保されていなかった。</p> <p>このため「魅力ある市街地の形成」、「走行性の向上による交通円滑化」、「交通安全対策の強化」を主な目的として、現道拡幅整備及び無電柱化整備を実施したものである。</p> <p>また、河川事業（愛知県）及び駅前再開発事業（瀬戸市）と合わせて整備を行った。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>① 魅力ある市街地の形成</p> <p>② 走行性の向上による交通円滑化</p> <p>③ 交通安全対策の強化</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>					
事業費	事業費		内訳			
	29.1億円		□工事費5.6億円、□用補費20.5億円、□その他3.0億円			
事業期間	採択年度	平成10年度	着工年度	平成10年度	完成年度	平成25年度
事業内容	<p>現道拡幅整備、無電柱化整備</p> <p>延長：540m、幅員：24.0～26.0m、車線数：2車線（2/2）</p>					
II 評価						
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>①魅力ある市街地の形成</p> <p>当該事業により無電柱化や景観舗装が整備され、多くの住民が景観が良くなったと感じており、魅力ある市街地の形成に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・尾張瀬戸駅周辺の景観に関するアンケート調査では、90%の市民が「景観が良くなった」と回答された。</li> </ul> <p>②走行性の向上による交通円滑化</p> <p>当該事業により現道拡幅や右折帯が整備され、旅行速度が向上し走行性が改善され、交通円滑化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行速度は、整備前のH9年と整備後のH29年を比較すると、11.0km/h向上（12.0km/h→23.0km/h）した。</li> </ul> <p>③交通安全対策の強化</p> <p>当該事業により歩道が整備され、多くの住民が安全になったと感じており、交通安全対策の強化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行時の安全性に関するアンケート調査では、91%の市民が「整備前よりも安全・安心になった」と回答された。</li> </ul> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>当該事業区間の整備により、魅力ある市街地の形成、走行性の向上による交通円滑化、交通安全対策の強化が図られ、事業目標は十分に達成している。</p>				

	2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】 —</p> <p>【達成状況に対する評価】 —</p>																																							
② 事業効果の発現状況		<p>【費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化】</p> <table border="1" data-bbox="371 349 1442 638"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>事業採択時 (H10)</th> <th>再評価時 (H19)</th> <th>実績 (H30)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">事業期間</td> <td>H10～H14</td> <td>H10～H22</td> <td>H10～H25</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">事業費 (億円)</td> <td>工事費</td> <td>6.0</td> <td>6.1</td> <td>5.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償費</td> <td>31.8</td> <td>20.9</td> <td>20.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>4.2</td> <td>2.7</td> <td>3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>42.0</td> <td>29.7</td> <td>29.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>効果の算定要因</td> <td>旅行速度 (km/h)</td> <td>H9センサス 12.0km/h</td> <td>H17センサス 16.0km/h</td> <td>H29調査 23.0km/h</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【事業期間に対する評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駅前中心市街地に位置していることから店舗の補償物件が多く、代替地の選定に難航するなど、用地取得に期間を要したため、再評価時に想定した事業期間よりも3か年延伸が必要となり、事業が長期化した。</li> </ul> <p>これらは、再評価時以降に発生した事案であり、やむを得ないものであったと判断する。</p> <p>【事業費に対する評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再評価時に想定した事業費と大きな差異なく、ほぼ計画通りに完了できた。</li> </ul> <p>【効果の算定要因に対する評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旅行速度が11.0km/h向上(12.0km/h→23.0km/h)しており、走行性の向上による交通円滑化が図られ、一定の効果があつたと判断する。</li> </ul>			事業採択時 (H10)	再評価時 (H19)	実績 (H30)	備考	事業期間		H10～H14	H10～H22	H10～H25		事業費 (億円)	工事費	6.0	6.1	5.6		用地補償費	31.8	20.9	20.5		その他	4.2	2.7	3.0		合計	42.0	29.7	29.1		効果の算定要因	旅行速度 (km/h)	H9センサス 12.0km/h	H17センサス 16.0km/h	H29調査 23.0km/h	
			事業採択時 (H10)	再評価時 (H19)	実績 (H30)	備考																																			
事業期間		H10～H14	H10～H22	H10～H25																																					
事業費 (億円)	工事費	6.0	6.1	5.6																																					
	用地補償費	31.8	20.9	20.5																																					
	その他	4.2	2.7	3.0																																					
	合計	42.0	29.7	29.1																																					
効果の算定要因	旅行速度 (km/h)	H9センサス 12.0km/h	H17センサス 16.0km/h	H29調査 23.0km/h																																					
③ 事業実施による環境の変化		<p>瀬戸プロムナード線における騒音や振動といったマイナス影響や自然環境へ与えた負荷については、現道拡幅や右折帯が整備され走行性が向上したことや沿線住民から苦情がないことから、特に認められなかった。</p>																																							
<b>III 対応方針（案）</b>																																									
今後の事後評価の必要性		<p>事業目標に対して目的を達成しており、事業の有効性が認められたので、今後の事後評価の必要性は無いものとする。</p>																																							
改善措置の必要性		<p>事業目標に対する効果が十分に発現しており、新たな課題も見られないため、改善措置の必要性は無いものとする。</p>																																							
同種事業に反映すべき事項		<p>駅前中心市街地などにおいては店舗の物件補償が多く必要となることが想定され、代替地の選定など、事業の長期化が想定される。同種事業においては、事業化段階において適切な事業区間長を検討することで、対象となる地権者数を絞ることにより、事業が長期化しないようにする必要がある。</p>																																							
<b>IV 事業評価監視委員会の意見</b>																																									
都市計画道路 瀬戸川プロムナード線の対応方針（案）[改善措置等必要なし]を了承する。																																									
<b>V 対応方針</b>																																									
改善措置等必要なし。																																									